

【特集：関東大震災から100年】

2023年は関東大震災から100年の節目の年。公民館では防災スタンプラリーを始め、歴史に学び未来につなげる講座を実施します。

親子、子ども  
大歓迎！

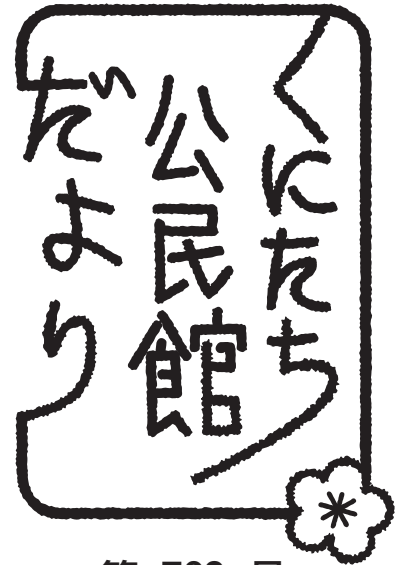
地震だ！どうする？

どなたでも  
参加可！

学べる！防災スタンプラリー

いつくるかわからない地震に皆さんはどんな備えをしていますか？スタンプラリー形式のイベントで、震災への備えについて学んでみましょう！開催時間中は各ブースを自由に巡っていただけますので、お気軽にご参加ください。

とき 9月23日（土・祝）  
朝10時～12時（開催時間中は出入り自由）  
ところ 公民館 地下ホール、駐車場など  
定員 80名（当日先着順）\*申込は不要です。



第 763 号

2023年 9月 5日  
(令和 5年)

「くにたち公民館だより」  
ホームページの QR コード ▶



地震・防災のお話

講師 小野 修平  
(ジョージ防災研究所防災アドバイザー)

家庭での備えについて考えてみよう！

時間：①朝10時10分～10時30分  
②朝11時～11時20分



\*基本的に同じお話です。

ところ：公民館 地下ホール

地震波実験

＆防災なんでも質問コーナー

講師 左記と同じ



P波？S波？地震波ってどのように進むの？質問も自由にできるよ！



ペットボトルを使った地震波実験の装置

ところ：公民館 地下ホール

発行

国立市公民館

〒186-0004  
国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

国立の防災について知ろう！

講師 防災安全課

防災マップを使って、国立市を見よう！



ところ：公民館 地下ホール

手洗い実験と災害時の健康管理

講師 保健センター



手洗いの仕方による汚れの落ち方の違いを見てみよう！災害時の衛生面や健康面のことを聞いてみよう！

ところ：公民館 地下ホール

防災クイズ

防災に関するクイズに挑戦しよう！公民館のあちこちにクイズが出されるよ！



ところ：公民館内

ポリ袋でごはん作り

災害時も温かい  
ごはんを！

講師 KUNIBO (くにたち地域外国人のための防災連絡会)

災害時に便利！ポリ袋を使って簡単にできる調理法を体験できるよ！試食または持ち帰りも可。  
\*なくなり次第終了



ポリ袋と湯煎で簡単調理！

ところ：公民館 地下ホール

水消火器体験、消防車との写真撮影

水消火器の様子と消防車

講師 国立市消防団第六分団

消火器の使い方を体験しよう！火事にならないように気を付けることは？記念に消防車と写真を撮ることができるよ。  
\*子ども用消防服もあります。  
\*雨天の場合内容を変更



ところ：公民館 駐車場

協力 国立市消防団第六分団 / KUNIBO (くにたち地域外国人のための防災連絡会) / 公民館利用者連絡会 / 防災安全課 / 保健センター \*当日朝9時～昼1時頃まで公民館の駐輪場は一部利用不可。臨時駐輪場をご案内します。

【特集：関東大震災から100年】〈シリーズ連続講座〉

# いま、ふり返る関東大震災の記憶

1923(大正12)年9月1日、マグニチュード7.9の巨大地震が発生、首都圏を襲いました。大都市を襲った未曾有の震災の経験は、人に、社会に、何をもたらしたのでしょうか。関東大震災から100年の節目を迎えるいま、多角的に歴史を学びふり返り、それを過去のものとして風化させないために、改めて見つめます。

〈連続講座②〉

## 百年前、荒川の河川敷で ～差別が生んだもうひとつの犠牲～

講師 西崎 雅夫 (一般社団法人ほうせんか)

地震発生後の混乱のさなか、「朝鮮人が暴動をおこした」「井戸に毒を入れたり放火したりした」と流言が飛び交い、数多くの在日朝鮮人の方などが追い詰められていきました。

武装したのは、市井に暮らす民衆でした。あの時、何が起こったのか。「一般社団法人ほうせんか」は、前身が1982(昭和57)年に墨田区で結成され、当時を知る地域住民からの聞き取りや資料調査などに取り組みされてきました。過去を風化させず、未来につなぐための思いを伺います。

とき 10月15日(日) 昼2時～4時  
ところ 公民館 地下ホール  
定員 60名(申込先着順)  
申込先 9月15日(金)朝9時～公民館☎(572)5141

〈連続講座①〉

## 関東大震災の社会史 ～メディア・政治・民衆～

講師 北原 糸子(立命館大学歴史都市防災研究所)

未曾有の震災は、当時「大正大震災」と呼び慣わされてきました。

当時、メディアは何を伝え、行政はどのような救護活動をおこない、罹災者はどう動いたのか……。史料を紐解くと、その時代を生きた人々の実態が浮かび上がってきます。関東大震災から100年を経て、近年には阪神淡路大震災、東日本大震災を経験した私たちが学ぶべき事柄はなんのでしょうか。

長年にわたり丹念に歴史的史料と向き合ってこられた、災害史研究の第一人者である北原さんに伺います。

とき 10月8日(日) 昼2時～4時  
ところ 公民館 地下ホール  
定員 60名(申込先着順)  
申込先 9月15日(金)朝9時～公民館☎(572)5141

〈連続講座オプションツアー〉

## 関東大震災100年に学ぶ 東京都復興記念館見学会

東京都復興記念館は、関東大震災の惨禍を永く後世に伝えるため、1931(昭和6)年に建てられました。今回は、関東大震災の発生から被害拡大の状況を伝える、当時のフィルムや写真を使用した映像の視聴や復興記念館の職員の解説、展示資料の見学を通し、学びを深めます。

\*見学終了後は現地解散となります。

とき 10月11日(水)  
朝10時～11時30分  
集合 朝9時50分  
東京都慰霊堂1階  
定員 20名(申込先着順)  
申込先 9月19日(火)  
朝9時～  
公民館☎  
(572)5141



設計者：伊東忠太(主な建築物に一橋大学兼松講堂等)  
(東京都復興記念館所蔵資料)

※見学会は連続講座と別にお申し込みください。

〈連続講座③〉

## 帝都防衛の時代 ～震災から「国民防空」へ～

講師 土田 宏成<sup>ひろしげ</sup>(聖心女子大学)

関東大震災による被害の多くは、地震後発生した同時多発火災によるものでした。初期消火の重要性が教訓となり、当時、遠い国のできごととして捉えられていた空襲による火災被害も危機感をもって語られるようになります。

戦争の足音が聞こえる時代、震災の教訓は官民一体となった防衛体制構築へとつながっていきます。それは、その後の社会や人々に、何をもたらしたのでしょうか。土田さんは「災害や震災では、命を守るためとの理由で国民の権利が制限されるが、国家の権力が間違った使われ方をしないよう、過去を学び、生かすことが重要だ」とおっしゃいます。いま、改めて過去を学ぶ機会にしたいと思います。

とき 10月22日(日) 朝10時～12時  
ところ 公民館 地下ホール  
定員 60名(申込先着順)  
申込先 9月15日(金)朝9時～公民館☎(572)5141

※連続講座ですが、受講したい回だけ参加することもできます。

〈図書室のつどい〉

# 死にそうだけど生きてます

お話 ヒオカ (ノンフィクションライター/作家)

地方の貧困家庭で育ち、中学校でいじめによる不登校を経験したヒオカさんは、独学で県下有数の進学校である公立高校、現役で難関の公立大学に進学しました。しかし、進学後も貧困は続き、新品の制服が買えない、教科書や参考書が買えない……など数々の苦労を重ねました。そうした自身の体験をメディアプラットフォーム「note」で公開した「私が“普通”と違った50のこと～貧困とは、選択肢が持てないということ～」が話題を呼び、会社員を経て、ライター業の道に進みました。

“無いものにされる痛み想像力を”をモットーに、弱者の声を可視化し、貧困問題や格差に関する取材・執筆活動を行うヒオカさんに、ご自身の生い立ち、貧困問題、学校や社会で生きづらさを抱えた経験などのお話をさせていただきます。貧困への理解を深め、生きづらさについて考える機会にしたいと思います。

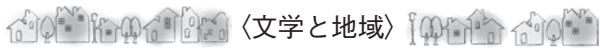
〈ヒオカさんの本〉表題作 (CCCメディアハウス)

とき 9月30日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 60名 (申込先着順)

申込先 9月8日(金)朝9時～ 公民館☎(572)5141



〈文学と地域〉

## 中央線沿線の文学風景—小説のなかの町を歩く—

講師 矢野 勝巳

(沿線文学研究家・元三鷹市山本有三記念館館長)

地域の身近な風景を文学作品を透して見つめてみませんか?今回は、太宰治や瀬戸内寂聴、村上春樹や又吉直樹など、多くの作家に縁のある井の頭公園や三鷹駅周辺を中心に作品と風景の新たな魅力を味わいます。

第1回 〔座学〕文学風景とは何か

とき 10月19日(木) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

第2回 〔散策〕井の頭公園周辺の町と文学の歴史を歩く

\*原則雨天でも決行予定です。

とき 10月27日(金) 昼1時～4時

集合 昼1時 京王井の頭線「井の頭公園駅」改札前

費用 200円(山本有三記念館入館料)\*当日集金します。

コース 玉川上水や太宰治旧居跡等を巡り、三鷹駅解散。

〈矢野さんの本〉『文学する中央線沿線』(ぶんしん出版)

定員 20名(申込先着順)\*原則2回とも出席できる方

申込先 市内在住・在学の方 9月14日(木)朝9時～

上記以外の方 9月21日(木)朝9時～

公民館☎(572)5141



監督 ビリー・ワイルダー  
出演 グロリア・スワンソン、ウィリアム・ホールデン、  
エリッヒ・フォン・シュトロハイム ほか

巨匠ビリー・ワイルダーの名声を確認した名作。『七年目の浮気』や『お熱いのがお好き』などコメディ映画の名手として知られるワイルダーだが、この作品では、年老いて、時代に取り残され、忘れ去られたスター女優の悲劇を、残酷なまでに冷たく突き放すようなシリアスさで描き切っている。無声映画時代の大スター・グロリア・スワンソンが、まるで自分自身を投影したかのような、入魂の名演を見せる。

とき 9月24日(日) 昼2時～(開場昼1時)

ところ 公民館 地下ホール

定員 70名(申込先着順)

申込先 9月7日(木)朝9時～ 公民館☎(572)5141

\*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込みください。

\*換気のため、途中で10分程度休憩を設けます。ご了承ください。

〈青年講座〉

## はじめての木エクラフト

講師 榎野 岳志 (DIYシェア工房クミタテ)

大学通りで年老いて伐採された桜等、くにたちの木材を材料に、スプーンやアクセサリなど自分だけの作品を創ってみませんか。

木の温もりに触れながら、参加者同士、同じ空間で作業をする楽しさを味わいましょう。

\*「リカバリーの学校@くにたち」と連携した講座です。



とき 9月23日、10月28日、11月25日

いずれも土曜日 朝10時～12時

ところ DIYシェア工房クミタテ ※現地集合  
(国立市富士見台1-7-1-106 〈むっさ21内〉)

対象 高校生～30歳代くらいの方まで

定員 5名

※公民館の「しょうがいしゃ青年教室」で活動しているしょうがいのある方や若者も一緒に参加します。

申込先 9月7日(木)朝9時～ ☎(572)5141

保育付講座

〈子育て短歌入門講座〉

# 子育ての日々を三十一音で語り合おう

子育ての日々は目まぐるしく、毎日があっという間。でもそんな日々の中で、子どもとの“このできごとを記憶に残しておきたい”“この気持ちをずっと覚えておきたい”と感じる瞬間も多いのではないのでしょうか。そんな想いを一枚の写真を撮るように、三十一音の短歌に込めてみませんか。

短歌なんて学校の授業以来やったことがないし、作れるのか不安……という方でも大丈夫！ まずは5音と7音のリズム遊びから始め、楽しみながら短歌の世界へと入っていきます。講師の花山さんは歌人であり、子育て中のお母さんでもあります。短歌を通して、花山さんや参加者の皆さん同士で子育て中の想いを共有し合い、創作する楽しさを味わってみませんか。

なお、大人が学んでいる間、子どもを公民館保育室で過ごす仕組みがあります。保育室は、公民館で学ぶ大人の学びを支え、保育室で過ごす子どもにとってもより豊かな生活、成長の場となることを目指して運営しています。

講師 <sup>はなやま</sup> <sup>しゅうこ</sup> 花山 周子 (歌人・装幀家)

とき 10月6日、13日、27日、11月10日、24日、12月1日、8日 (全7回)  
いずれも金曜日 朝10時～12時

講座詳細はこちら↓

ところ 公民館 3階中集会室

対象 子育て中の方

定員 10名 (申込先着順)

申込先 9月7日(木)昼1時～ 公民館☎(572) 5 1 4 1



## 保育

子ども定員：若干名 (市内在住の方のみ、講座初日に概ね生後6ヶ月～未就学児。申込先着順)。講座と同時に申し込み。保育申込締切：9月15日 (金)。

保育室オリエンテーションを9月29日 (金) 朝10時から行いますので、おやつ代175円 (全7回分) をご持参のうえ、お子さんと一緒に参加してください。

〈くにたちブッククラブ 記憶の欠片をひろい集めて〉

## 川越宗一「熱源」(文春文庫)

講師 内藤 千珠子 (大妻女子大学・近現代日本語文学)

とき 9月21日 (木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 地下ホール 定員 30名 (申込先着順)

申込先 公民館☎(572) 5 1 4 1

\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈ジェンダー講座〉

日頃のモヤモヤの正体は……？

## 「ジェンダー・ステレオタイプ」

について考えよう！

講師 澤柳 孝浩

(国際NGOプラン・インターナショナル)

世界経済フォーラムによる「ジェンダーギャップ指数2023」が世界146カ国中125位に位置付けられている日本。ジェンダー格差をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会を実現するためには、法律や制度の改正だけでなく、社会に広く浸透している「ジェンダー・ステレオタイプ(※)」を解消していくことが重要だと言われています。

女性だから「家事をするのはあたりまえ」「優しくなくちゃ」、男性だから「家族を養わなくてはならない」「泣いてはダメ」などの言葉に違和感を覚えたり、傷ついたりした経験のある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回の講座では、日頃抱いている「ジェンダー意識」と「ジェンダー課題」について考えるアクティビティを行い、その中でジェンダーの平等や不平等について理解を深める機会にしたいと思います。

既存の女らしさ・男らしさにとらわれない、自分らしさを追求できる社会の実現のために、ともに一歩を踏み出してみませんか。

中高生や大学生、親子での参加も大歓迎です！

※「ジェンダー・ステレオタイプ」とは：社会に浸透しているジェンダーに基づく固定観念や思い込み、偏見のこと。

とき 10月8日 (日) 朝10時～12時

ところ 公民館 3階講座室 定員 30名 (申込先着順)

申込先 9月12日(火)朝9時～ 公民館☎(572) 5 1 4 1

## 公民館運営審議会報告

8月8日(火) 第34期第10回例会を開催。委員13名。館長、職員2名出席。傍聴人5名。  
○新任委員への委嘱状交付  
○新任委員は森本彩里紗さん。  
○第34期答申作成のため、佐藤節子さん(第30期委員長)、富田和江さん(第31期委員長)にヒアリングを行った。公民館における事業評価のあり方をめぐって、「公民館講座をふりかえる会」を提案・開催した経緯や成果の詳細をお聞きした。

○公民館だより編集委員会  
8月号における市民体育祭の案内の位置づけに関して質疑。  
○社会教育委員の会  
ICT活用の諸問に対する事前課題に各委員が取り組む。  
○東京都公民館連絡協議会  
10月14日(土)の委員部会研修会は、講師に荒井容子さん(法政大学)、伊東静一さん(東京都公民館連絡協議会顧問)に決定。  
○社会教育学習会  
8月24日(木)「公民館のハテナ」を解き明かす「広報を強化」  
○市長・教育長との意見交換について参加人数等の確認。  
審議事項  
○公民館主催事業予定を館長から説明。現状の課題意識を共有。  
○正副委員長より館長諮問の答申内容検討のため、次回定例会における協議方法の予定が示された。次回9月12日(火)夜7時15分から3階講座室。傍聴歓迎。

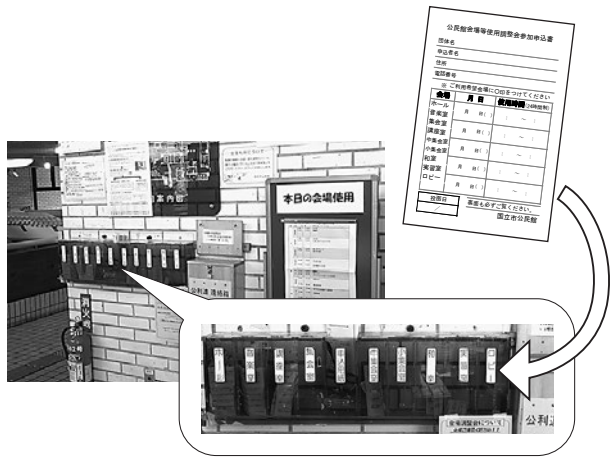
(望月)

# —公民館の会場予約のご案内—

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、会場調整の場を設けています。  
11月～2月（ロビーは12月～3月）の利用希望は以下の方法で、調整会へご参加ください。

## ★「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館1階入口正面の会場別ポストに「参加申込書」を入れてください。  
ポスト投入期間は、以下の表(■今後の会場調整会日程)のとおりです。



## 申込みに重なりがあった団体へのお知らせ

以下の表の日程で、会場別ポスト付近に掲示します。  
ホームページでもお知らせします。



▲QRコードからもご確認いただけます。

「参加申込書」は、入口正面にあるポストに投入してください。

## 掲示のあった団体 …会場調整会への参加

調整会へは、1団体1名、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場を想定して、最終的な判断ができる方がご参加ください。(開始時間に遅れたり、不参加の場合は、使用希望は消しとなります。)

## 掲示のなかった団体

**会場調整会翌日以降**  
2階事務室へ本申込みに  
お越しください。

## ★「参加申込書」を提出していない団体の予約方法

- ・2階事務室での受付…調整会当日の午後2時～
  - ・電話での仮予約…調整会当日の午後3時～
- ※受付時間:午前9時～午後5時(月曜、祝日、年末年始を除く)

\*詳細や不明な点は、公民館までお問合せください。  
\*会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力により実施しています。

公民館 ☎ (572) 5141

## ■今後の会場調整会日程

(※いずれも午前10時～)

使用希望月(ロビー)	申込書のポスト投入期間	重なり団体の掲示日	※会場調整会
11月(12月)	9月2日(土)～9月28日(木)	9月30日(土)～	10月7日(土)
12月(1月)	10月7日(土)～10月26日(木)	10月28日(土)～	11月4日(土)
1月(2月)	11月4日(土)～11月23日(木)	11月25日(土)～	12月2日(土)
2月(3月)	12月2日(土)～12月21日(木)	12月23日(土)～	1月6日(土)

## 今月の公民館 (9月～10月中旬)

- 10日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう  
 「科学で飛ばそう射的あそび」
- 16日(土) 昼～ 食文化・連続講座 「食文化から未来を考える」
- 17日(日) 昼 版画をつくってみよう！  
 ～プレス機体験ワークショップ～
- 21日(木) 夜 ブッククラブ 川越宗一「熱源」
- 23日(土・祝) 朝 「学べる！防災スタンプラリー」
- 23日(土・祝) 昼～ 青年講座 「はじめての木エクラフト」  
シネボックス
- 24日(日) 昼 CINEVOX 『サンセット大通り』
- 30日(土) 昼 図書室のつどい 「死にそうだけど生きてます」
- 10月6日(金) 朝～ 子育て短歌入門講座  
 「子育ての日々を三十一音で語り合おう」
- 8日(日) 朝 ジェンダー講座  
 「『ジェンダー・ステレオタイプ』について考えよう！」
- 8日(日) 昼～ 関東大震災から100年「関東大震災の社会史」
- 19日(木) 昼～ 文学と地域 「中央線沿線の文学風景」
- 講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問合せください。
- 公民館 ☎ (572) 5141



公民館の状況▲

### 俳句を始めてみませんか



# ひるば

「療」同人岡山祐子先生指導の常に前向き明るく進行の句会はずっと言う間の三時間です。ゆつくり歩み一同優しく親切をチームカラーに初心者再挑戦者大歓迎です。

日時 毎月第2月曜日 昼1時～

場所 郷土文化館 第一研修室

連絡先 鈴木 (573) 3616

9月の国際理解講座は、イタリア・ナポリ近郊の島出身で国立市在住26年、イタリア語教師のロザルバ・デイ・メッリオさんに、イタリアのお話をして頂きます。

日時 9月10日(日) 夜7時～9時

場所 公民館 講座室&Zoo room

連絡先 西江 (070) 7838

### くにたち国際友好会 WING

### 数学を楽しむ集い

数学の不思議を解き明かします。身近な話題からパズル、図形、統計まで色々な話題を紹介します。驚きと謎があふれる数学の世界に気軽にお越し下さい。お電話を！

日時 9月9日(土)23日(土)昼1時～

場所 公民館 集会室等

連絡先 山本 (572) 1028

### 加害者としての戦争を語る会

「ナガサキ消えたもう一つの原爆ドーム」の著者でノンフィクション作家の高瀬毅さんから被爆地長崎で戦後78年の今、何が起きているかご報告いただきます。

日時 9月17日(日) 昼2時～

場所 公民館 講座室

連絡先 龍野 (090) 1469 1094

### 勇気ある人達が時代を作るVOL.1

「国立駅舎だるま」をデザインするビス職員と共に色付けしませんか？お子様大歓迎！(先着順)(参加費300円)

日時 9月30日(土) 昼1時～3時

場所 公民館 集会室

連絡先 シルバーハイッ谷保

デイ担当 宮崎(574) 5214

### 「リカバリーの学校@くにたち」

講座「私の人生の主人公は私」が教えてくれたこと」を開催。講師は栄セツ子(桃山学院大学)、主催は眞山舎。申込はメールへ。info@sanyamaya.org

日時 10月1日(日) 昼2時～4時

場所 公民館 地下ホール

連絡先 土屋 (090) 4465

### ゲートボール初心者教室 無料

軽く振ったスティックでボールがはずむ。ゲート通過で続けて打てる。運動靴でご参加ください。

主催 国立市ゲートボール連盟

日時 (木)週2回10月15日(日)11月12日(日)まで 朝10時～

場所 矢川上公園ゲートボール場

連絡先 鈴木 (090) 3695

### 「サークル訪問383」 彩人形グループ

国立生まれの彩人形。みなさんは彩人形と聞いてどのような人形を思い浮かべますか？

彩人形は和紙で作られた可愛らしい小さな人形で、大きさは5～10cm程度。雛人形や歌舞伎、能、祭りなどをテーマにした和風の人形やドレスを着た洋風の人形、ハロウィンや赤ずきんなどをテーマに物語を表現した「合同作品」まで様々です。

訪問した日は、講師の青木素子先生とサークル責任者の井上恵子さん、9名の会員が参加していました。

和紙は浅草橋などにある専門店で購入するのですが、一枚の大きさが120cm×75cm程度あります。一人で大きい和紙を何種類も購入することは難しいですが、仲間がいれば分け合えます。

その和紙を、作る人形ごとに先生や井上さんが事前に切り分け、型紙とともにセットして準備します。人形の土台となる針金の芯に綿型紙に合わせカットした和紙を重ねて貼り、立体にしていきます。

小さな人形や小物を作る作業は神経を使います。会員のみなさんは先生からの指導の受け答えや仲間とのおしゃべりを楽しみながらも、熱心に取り組んでいました。ひとつひとつ出来上がっていくことは喜びと達成感をもたらします。人形が完成する時間には個人差がありますが、簡単なものは3時間程度あれば完成します。出来上がった人形を展示することも大切な目標。今は10月の作品展に向けて準備中です。

和紙から生まれる彩人形は日本の文化のひとつであり、外国人を対象にした人形作りイベントもあるそうです。彩人形の魅力は国立から世界にも広がっているのです。仲間とともに作り上げてきた約45年も続く歴史あるサークル。和気あいあいと楽しく活動できる彩人形作りにみなさんも一度参加してみませんか？

日時 木曜日 朝9時～昼1時

場所 公民館 集会室他

連絡先 井上 (575) 0236

〈文・写真 幸島 裕子〉



仲間と一緒に作る時間は楽しくあつという間です

